

審議された主な議案と、本会議で行われた議案に対する質疑の一部について掲載しています。
議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を11ページに掲載しています。

▼第3回臨時会（11月）

◆議案第1号

龍ヶ崎市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

令和2年の人事院勧告等に基づき、龍ヶ崎市職員の給与に関する条例及び関連する条例の合計4条例を改正しようとするものです。

▼第4回定例会（12月）

◆議案第9号

工事等請負契約について（龍ヶ崎市学校給食センター整備事業）

龍ヶ崎市学校給食センター整備事業について、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により議会の議決を求めるものです。なお、仮契約額は、19億5360万円です。

◎質疑

金剛寺議員 今後の建設スケジュールについて伺います。

教育部長 令和2年度から3年度にかけて、基本設計及び実施設計に順次着手し、盛土・造成工事を令和3年度に完了させる予定です。令和3年度後半から建築工事、調理設備、給排水設備等に順次着手し、令和5年6

月までに完了させる予定です。その後、開業に向けた準備を行い、令和5年9月の供用開始を目指しています。



▲新しい学校給食センターが令和5年に完成予定

◆議案第10号

和解に関するごまかひん

平成30年度の道の駅護岸改修工事について、前年度の平成29年度に行った道の駅護岸実施設計業務委託により作成された設計書に基づき同工事を実施したところ、その安全性の問題から中止となったことに関し、市が工事請負業者に出来高精算金として支払った額のうち、その6割相当となる527万円を当該実施設計業務の受託者が負担し、一方、当該実施設計業務受託者が修正設計のために実施した地質調査の費用482万7600円を市が負担することで和解するものです。

◎質疑

後藤敦志議員 道の駅護岸実施設計業務の受託者が新たに実施した牛久沼の地質調査は、市が

指示をして実施させた調査なのですか。また、その費用負担について、市はどのように認識されていたのですか。

市長公室長 道の駅護岸工事の請負業者から、ヘド口層が厚く工事ができないといった報告を受け、平成30年11月に、市、請負業者、設計コンサルタンの3者で試験施工を行い状況確認を行ったところ、仮締切りによる施工は難しいことが判明しました。間もなく、設計コンサルタントが、試験施工の状況を踏まえ、沼内の地質状態を詳細に確認するため、平成30年12月に沼内の地質調査を実施しました。この調査で、想定を超える軟弱地盤が確認され、護岸工事の工法等を大幅に変更する必要があったことから、平成31年1月に工事を中止したものです。

なお、追加の地質調査については、あくまで設計コンサルタントの判断、負担で実施されたものであり、当初、市としては調査費用の負担について考えていませんでした。

◆議案第11号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第11号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1億762

4万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、351億3034万5千円とするものです。

（主な事業等）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費
- ・ 地域企業活力応援事業
- ・ 地域活性化イベント開催事業
- ・ 保育所等施設整備事業
- ・ 文化団体等活動継続支援事業
- ・ スポーツ団体等活動継続支援事業

◎質疑

伊藤議員 自主防災組織活動成事業について、消防団・自主防災組織等連携促進支援事業の内容を伺います。

危機管理監 自主防災組織連絡協議会と連携し、地域防災力の向上とともに健康体力づくりの機運を高めるため、浸水想定区域と避難所を知ってもらう機会とし、避難経路をウォーキングコースとして設定し、各地区における災害リスクや歴史を学び、避難方法を認知していただくものです。



▲ウォーキングを通して避難経路などを確認